

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

安倍首相辞意表明 速やかに臨時国会開き 10兆円の予備費で コロナ対策3次補正予算を

安倍首相辞任会見受け早速街頭から訴え

安倍晋三首相が28日夕方辞意を表明した翌朝29日に県庁前において、後藤勝彦党県委員長、尾村利成県議、橘祥朗、吉儀敬子の両市議が緊急の街頭宣伝を行いました。

安倍首相は持病が悪化して辞意を表明したとのこと、治療に専念し回復されることを党として願っていること、辞任後の国会は、速やかに開会すべきであることを訴えました。



左から橘市議、尾村県議、後藤県委員長、吉儀市議

後藤県委員長は「共産党は、安倍政権と憲法や民主主義の問題などあらゆる分野で、正面から対決してきた。今後も市民と野党の共闘を大きく発展させ、希望ある政治の実現のため力を尽くす」と述べました。

橘市議団長は「9月2日から市議会が始まる。原発再稼働など国の対応が市政に影響する。国に対して、原発ゼロ

への転換をきっぱり主張していききたい」と決意を述べました。

新庁舎建設特別委員会 自治会ごとの説明状況などを質疑

8月28日、新庁舎建設特別委員会が開催され、議場の景観について、新庁舎設計の景観審議会答申について、公民館単位で行われた新庁舎説明会の状況について執行部から説明があり、田中はじめ市議が委員として参加しました。

田中市議は、29か所で行われてきた説明会で出された特徴的な意見は何か、今後どのように市民に説明していくかについて見通しを質しました。

岡田等新庁舎整備課長は、「コロナ禍の下ではあるが、説明会の時間が足りないという意見があった。今後、出前講座の開催を計画している」と述べました。

続いて田中市議は、建設費高騰の大きな原因である、建設人件費と建設資材価格の最近の傾向はどうかと質しました。

岡田課長は、「人件費は上昇傾向が続いている一方、建設資材価格は若干下がっている。今後の動向を注視している。

尾村県議は、自民党政治には「財界中心」「アメリカ言いなり」の二つのゆがみがあると指摘し、「効率化最優先の自民党政治を変えよう」と呼びかけました。

岡田課長は、「データ改ざんが問題となったのは油圧ダンパーだが、新庁舎には機械式ダンパーを予定しており、性能に問題はない。」と回答しました。

松江北道路、このまま進めてよいのか、 住民が意見交換会

県と松江市は「北道路情報誌」を配布し、8月26日と9月6日に北道路建設「市民説明会」を開催するとの案内を行いました。県は、市民説明会を終えた後、この秋には都市計画の決定手続きに着手する予定としています。

こうした動きを受けて、8月24日、日本共産党島根県議



北道路問題の意見交換会

その後参加者からは、「本当に必要な道路なのか、10・5キロの道路に250億円もかけ何分短縮できるのか」、「高規格道路だが、下佐陀と古江小学校付近の古曾志インターは平面交差点で危険だ」、「防災・減災事業にこそ予算を使うべき」など、多くの意見が出され、事業の問題点を市民に訴えようと話し合われました。

尾村県議は、自民党政治には「財界中心」「アメリカ言いなり」の二つのゆがみがあると指摘し、「効率化最優先の自民党政治を変えよう」と呼びかけました。